



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL https://www.itrade.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	989	9.0	△34	—	△72	—	△3	—
2019年9月期第2四半期	907	△1.9	△184	—	△183	—	△185	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 △37百万円(—%) 2019年9月期第2四半期 △185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	△0.52	—
2019年9月期第2四半期	△25.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,465	853	58.2
2019年9月期	1,228	754	59.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 853百万円 2019年9月期 729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00			
2020年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	36.8	17	—	△60	—	△24	—	△3.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社デジタルアセット
マーケッツ

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年9月期2Q	7,444,800株	2019年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	259,200株	2019年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年9月期2Q	7,185,600株	2019年9月期2Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び健康食品や化粧品等の開発及び販売を中心とする「ヘルスケア事業」の3つです。

当第2四半期連結累計期間（以下、「当第2四半期」）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2019年9月期 (前第2四半期)		2020年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	907	100.0	989	100.0	109.0
金融ソリューション事業	616	67.9	702	71.0	114.0
ビジネスソリューション事業	143	15.8	189	19.1	132.1
ヘルスケア事業	147	16.3	97	9.8	66.0
営業損失(△)	△184	—	△34	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△185	—	△3	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第2四半期の業績は、ヘルスケア事業が減収となったものの、金融ソリューション事業及びビジネスソリューション事業において大幅な増収となり、全体では前年同期に比べ81百万円増加し989百万円となりました。また損益面においては、株式会社インタートレードヘルスケアの通販事業売却や株式会社デジタルアセットマーケットが持分法適用会社に移行したことによる費用の減少により、営業損失は34百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は3百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 702百万円 (前年同期比 114.0%)

セグメント利益 173百万円 (前年同期比 1,810.6%)

なお、金融ソリューション事業の売上内訳は、次の表のとおりです。

<製品区分別>

	2019年9月期 (前第2四半期)		2020年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	407	66.1	494	70.3	121.2
取引所端末	130	21.1	132	18.8	101.6
外国為替証拠金システム	56	9.2	62	8.8	108.8
取引所関連システム	5	0.9	0	0.1	6.8
その他	16	2.7	14	2.0	87.6
合 計	616	100.0	702	100.0	114.0

当第2四半期においては、主に連結子会社であった株式会社デジタルアセットマーケット（以下、デジタルアセットマーケット）が公共性の高い金融サービスの提供を目指していくために、事業のパートナーシップの強化を目的とした資本増強を実施したことで、持分法適用会社に移行したこと、またこれまで社内で研究開発を進めていた『Spider』を、デジタルアセットマーケットから受注したことにより、売上高は前年同期比114.0%の702百万円、セグメント利益は前年同期より大幅に改善し173百万円となりました。

引き続き、当社は20年に渡り培ってきた技術資産を軸に、新技術と金融サービスを融合させ、これまでに無い新たな金融サービスを提供していくことを目指すデジタルアセットマーケットをシステム面でサポートしていくと共に、『Spider』の機能拡張などの研究開発に引き続き注力していきます。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 189百万円 (前年同期比132.1%)

セグメント利益 2百万円 (前年同期比14.6%)

期初に自社開発の経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e²』の大規模拡張案件を受注したことにより、売上高は前年同期比132.1%の189百万円となりました。セグメント利益も2百万円となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケア（以下、インタートレードヘルスケア）の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 97百万円 (前年同期比66.0%)

セグメント損失 61百万円 (前年同期は65百万円のセグメント損失)

「ITはなびらたけ」メーカーとしてのビジネス展開に注力するため、インタートレードヘルスケアの通販事業を売却した結果、当第2四半期の売上高は前年同期比66.0%の97百万円となりましたが、収益構造が悪化していた事業を切り離し経営資源を集中させたことにより、セグメント損失は61百万円となり前年同期より損益面は若干改善しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し、1,465百万円となりました。自己資本比率は58.2%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は138.8%となっております。

(資産)

総資産合計1,465百万円のうち、現金及び預金が593百万円（構成比40.5%）を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金245百万円（構成比16.8%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）170百万円（構成比11.6%）、投資有価証券231百万円（構成比15.8%）となっております。

(負債)

負債合計612百万円のうち、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入の合計が200百万円（負債合計に対する構成比32.7%）となっております。

(純資産)

純資産合計853百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,526百万円、自己株式△95百万円となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、593百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは243百万円の支出（前年同期は201百万円の支出）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純損失28百万円、売上債権の増加額△42百万円、たな卸資産の増加額△94百万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、18百万円の支出（前年同期は13百万円の支出）となりました。

関係会社株式の売却による収入22百万円、差入保証金の差入による支出△40百万円がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、162百万円の収入（前年同期は24百万円の支出）となりました。

短期借入金の純減額の△100百万円、非支配株主からの払込による収入281百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画どおり推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症が日本国内でも拡大しており、収束時期の見通しは不透明であります。長期化した場合には当社グループの業績にも影響が出るものが懸念されますが、現時点では業績への影響を合理的に算出することが困難であるため、2019年11月14日に公表した通期連結業績予想は据え置いております。

今後、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	693,149	593,660
受取手形及び売掛金	203,005	245,819
商品及び製品	34,208	29,840
仕掛品	34,356	133,340
原材料及び貯蔵品	7,324	7,211
その他	60,932	60,063
流動資産合計	1,032,977	1,069,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,445	10,533
機械装置及び運搬具(純額)	682	597
工具、器具及び備品(純額)	14,584	13,404
有形固定資産合計	26,713	24,535
無形固定資産		
ソフトウェア	12,532	10,626
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	13,780	11,873
投資その他の資産		
投資有価証券	26,579	231,845
敷金及び保証金	125,135	124,725
その他	14,879	14,803
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	154,742	359,522
固定資産合計	195,235	395,932
資産合計	1,228,213	1,465,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,431	79,920
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	19,040	300
未払法人税等	10,294	21,650
前受金	4,509	232,602
その他	63,409	70,405
流動負債合計	469,686	604,878
固定負債		
退職給付に係る負債	3,800	7,893
固定負債合計	3,800	7,893
負債合計	473,486	612,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	869,410	996,567
利益剰余金	△1,523,159	△1,526,873
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	729,651	853,095
新株予約権	220	—
非支配株主持分	24,854	—
純資産合計	754,726	853,095
負債純資産合計	1,228,213	1,465,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	907,875	989,705
売上原価	572,935	658,780
売上総利益	334,940	330,925
販売費及び一般管理費	519,064	365,366
営業損失(△)	△184,123	△34,440
営業外収益		
受取利息	12	2
受取配当金	52	66
助成金収入	1,710	—
その他	162	50
営業外収益合計	1,938	119
営業外費用		
支払利息	706	711
持分法による投資損失	—	37,758
その他	252	1
営業外費用合計	959	38,471
経常損失(△)	△183,144	△72,792
特別利益		
事業譲渡益	—	2,000
持分変動利益	—	42,514
新株予約権戻入益	17	220
特別利益合計	17	44,734
特別損失		
関係会社株式売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△183,127	△28,058
法人税、住民税及び事業税	2,052	9,908
法人税等合計	2,052	9,908
四半期純損失(△)	△185,180	△37,967
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△34,253
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△185,180	△3,713

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△185,180	△37,967
四半期包括利益	△185,180	△37,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△185,180	△3,713
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△34,253

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△183,127	△28,058
減価償却費	8,370	4,598
ソフトウェア償却費	1,795	1,906
その他の償却額	2,689	1,286
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,000	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	723	4,093
受取利息及び受取配当金	△65	△68
支払利息	706	711
事業譲渡損益(△は益)	—	△2,000
持分変動損益(△は益)	—	△42,514
新株予約権戻入益	△17	△220
関係会社株式売却損益(△は益)	—	0
持分法による投資損益(△は益)	—	37,758
売上債権の増減額(△は増加)	61,472	△42,814
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,772	△94,503
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,008	△4,152
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,692	7,488
未払金の増減額(△は減少)	△725	5,271
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	2,494	3,529
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,411	13,914
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3,707	△106,958
小計	△197,434	△240,730
利息及び配当金の受取額	65	68
利息の支払額	△666	△553
法人税等の支払額	△3,495	△4,975
法人税等の還付額	144	2,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,386	△243,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△606	△2,421
無形固定資産の取得による支出	△6,873	—
長期前払費用の取得による支出	—	△1,210
差入保証金の差入による支出	△5,780	△40,057
事業譲渡による収入	—	2,000
関係会社株式の売却による収入	—	22,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,260	△18,975
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100,000
長期借入金の返済による支出	△24,606	△18,740
非支配株主からの払込みによる収入	—	281,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,606	162,784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,252	△99,489
現金及び現金同等物の期首残高	831,304	693,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	592,051	593,660

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社デジタルアセットマーケットが、当社グループ外の企業に複数回の第三者割当増資を行ったこと等により、資本剰余金が127,157千円増加しており、当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金は996,567千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	616,781	143,430	147,663	907,875	—	907,875
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	255	255	△255	—
計	616,781	143,430	147,919	908,131	△255	907,875
セグメント利益又は損失 (△)	9,606	15,084	△65,127	△40,436	△143,687	△184,123

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△143,687千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	702,830	189,421	97,453	989,705	—	989,705
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	122	122	△122	—
計	702,830	189,421	97,575	989,827	△122	989,705
セグメント利益又は損失 (△)	173,928	2,208	△61,378	114,759	△149,200	△34,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,200千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。